

研修医が学会発表で表彰されました！

1 年次研修医 宮田 奈央子

- 学会名 第334回日本内科学会九州地方会
- 賞 名 日本内科学会九州支部初期研修医奨励賞
- 演 題 血栓性微小血管症で発症し、腎生検で lupus vasculopathy を認めたループス腎炎の男性例
- 指導診療科 腎臓内科

指導医の海老原先生(本院卒後臨床研修センター 第13期修了生)も指導医賞を受賞されました！！



宮田先生

指導医の海老原先生

受賞コメント/宮田先生

この度、日本内科学会九州地方会で初期研修医奨励賞をいただくことができました。初めての学会発表でわからないことだらけでしたが、藤元教授、海老原先生をはじめ腎臓内科の先生方にご指導いただき無事発表を終えることができました。貴重な症例を経験することができ、また多くのことを学ぶことができました。まだまだ未熟ではありますがこれからも研鑽を積み日々努力を重ねてまいりたいと思います。最後に、このような機会を設けていただいた腎臓内科の先生方に心より感謝申し上げます。

受賞コメント/海老原先生

宮田奈央子先生は、1年目の5月、6月に当科で研修して頂きました。親切で丁寧な診療をされており、患者さんからも信頼されていました。今回発表した症例は複雑な病態でしたが、十分に理解されて発表に挑んだ結果が研修医奨励賞受賞に繋がったと思います。今後も精進して、内科学領域を専攻してくれることを期待しています。

1 年次研修医 三嶋 悠佳

- 学会名 日本超音波医学会第31回九州地方会学術集会
- 賞 名 日本超音波医学会第31回九州地方会学術集会 新人賞
- 演 題 異なる臨床病型を呈したValsalva 洞-右室瘻の2例
- 指導診療科 循環器内科

指導医の
山村先生

三嶋先生

指導医の
黒木先生

受賞コメント

この度、日本超音波医学会九州地方会学術集会にて新人賞をいただきました。

このような素晴らしい賞をいただきありがとうございます。また、循環器内科指導医の先生方を始め、たくさんの先生方にご指導いただきました。心より感謝申し上げます。

初めての学会発表ということで学ぶことも多く、準備から発表まで、全てが大変貴重な経験となりました。このようなチャンスを今後もいただけるよう、今回の経験を糧にさらに精進していこうと思います。

研修医が学会発表したものが論文化されました！

P2にも
掲載しています▶▶

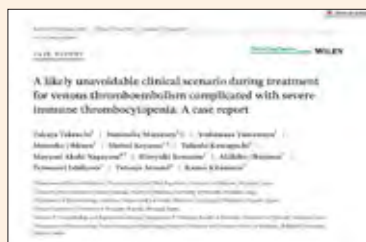
本院卒後臨床研修プログラム内部コース「内科合同研修コース」を選択していた研修医が「医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ2020」で演題発表したものが論文化されました。

- 学会発表者 大楠 桃子(発表当時本院2年次研修医)
- 論文タイトル A likely unavoidable clinical scenario during treatment for venous thromboembolism complicated with severe immune thrombocytopenia
- 著 者 竹内貴哉先生、松浦祐之介先生、大楠桃子先生 他
- Journal名 Clinical Case Report

コメント/竹内先生

研修医の先生と経験した症例がClinical Case Reportsに採択され、大変嬉しく思います。研修医の先生との架け橋となってくださっている卒後臨床研修センターの方々、ご協力頂いた先生方に感謝申し上げます。

重症、稀有な症例が集まる大病院だからこそ経験することができたと思いますし、自分の経験を英語論文として発表できる循環器内科の環境に感謝しております。今後も研修医の先生方と一緒に臨床、学会発表など取り組めたらと思います。



コメント/松浦先生

卒後臨床研修センターの小松先生をはじめ、諸先生方のお力添えがあり、ケースレポートとして形にする事が出来ました。本症例は、当時研修医であった大楠先生が「内科ことはじめ」で発表し、気鋭の循環器内科医である竹内先生がケースレポートとしてまとめ上げました。診療上のジレンマケースを、協働して臨床報告するという経験を通して、若い先生方が成長することが出来た良いケースだと思えます。共著の皆様にも、この場を借りて感謝申し上げます。

学会発表者の大楠先生にもコメントいただきました！

大楠先生

内科ことはじめで発表の機会をいただいた症例が、この度Clinical Case Report にアクセプトとされたこと何いました。筆頭著者の竹内先生や発表のご指導をいただいた松浦先生、その他共著の先生方、この度は誠にありがとうございます。松浦先生に手厚くご指導いただいた時間は、何にも変えがたい糧となりました。医師として駆け出しの身ですが、いつか私も先生のように熟く丁寧な指導ができることを目指して、日々精進したいと思っています！



研修医が学会発表したものが論文文化されました!

- 学会発表者 榎間 菜津美 (発表当時本院2年次研修医)
- 論文タイトル Metachronous Esophageal Ulcers after Immune-mediated Colitis Due to Immune Checkpoint Inhibitor Therapy: A Case Report and Literature Review
- 著者 小川宗一郎先生、河上洋先生、鈴木翔先生 他
- Journal名 Internal Medicine

コメント/小川先生

今回、榎間菜津美先生が学会発表された症例を、論文化させていただきました。英語論文の執筆にはとても苦労しましたが、自身の見識を深めることが出来、また論文として形に残せたことは大変嬉しく感じております。今回の経験を今後の日常診療に生かしていければと思います。最後にはなりますが、ご指導いただいた河上先生、鈴木先生に、この場を借りて感謝の意を申し上げたいと思います。ありがとうございました。



コメント/鈴木先生

この度、榎間先生が発表した症例を英文で形に残せたことを嬉しく思います。英文で残すことで全世界の医師に情報を共有できるチャンスが生まれることとなります。榎間先生は小生がアドバイザーとしても大きく関わっていたので、喜びも一入です。本症例は呼吸器内科での治療に伴って起こった有害事象でしたので、まさに内科で共闘した症例でした。大学病院というacademic centerで経験できるものは、きっと医師人生の糧になります。様々な経験をして遅く成長していってほしいと思います。

内科合同研修コース担当 卒後臨床研修センター教員から一言

宮内先生

日々の忙しい業務の中で臨床医の“お仕事”はどこにも足跡が残りません。“臨床医が論文を書くこと”のいちばん大きな意義は『自分の足跡を残す』ことだと思っています。今回の皆さんの業績は長い医師人生の中では本当に“些細なもの”になるかもしれませんが、引き出しの奥にしまった小さな宝石のようにきっと素敵な財産になると思います。おめでとうございます!

研修医の声

医科2年次研修医 佐藤 有生

一年半の研修医生活、山あり谷ありの毎日を送ってきました。成長を実感する瞬間もありますが、反省することの方がまだまだ多い印象です。嬉しいことや辛いことを話し合える同期が多いことが大学での研修を選択した最大のメリットだと私は思います。同期は百葉の長ですね。

話は変わりますが、私は今(8月、9月)地域医療を学ぶため宮崎市立田野病院で研修させていただいております。田野病院ではcommon diseaseの対応、終末期医療を勉強できます。常勤には外科・整形外科・血液内科・循環器内科・総合診療科の専門医の先生方がいらっしゃるため、医療知識だけでなく、コンサルトすべきか否かの選択など実践に基づいた勉強ができます。様々な主訴で多くの患者さんが受診するためEPOC2の症例もあつという間にたまっていきます。また、2021年から東京慈恵会医科大学の研修医がローテーションで回ってくるようになりました。都会とのコネクションも作れます。ぜひ田野病院をご検討ください!!



左から佐藤先生、循環器内科塚塚先生、研修同期の唐澤先生

宮崎県基幹型臨床研修病院研修医対象

教育カリキュラムを実施しています

2020年度の研修制度見直しに伴い必須化、推奨化された領域に対応した勉強会を昨年度に引き続き実施しています。また、今年度は特別企画として、必須項目であるアドバンス・ケア・プランニング(ACP)について、神戸大学医学部附属病院緩和支援治療科の木澤義之特命教授に講義いただくことが決定しました!宮崎県内の研修医はどなたでも参加できますので奮ってご参加下さい!



今後の予定

令和3年12月9日(木) 18時~18時40分
抗菌薬の上手な使い方と薬剤耐性菌への対応
 宮崎大学 膠原病・感染症内科 助教 松田 基弘 先生

令和4年2月10日(木) 18時~18時40分
子ども虐待への対応
 宮崎県立宮崎病院 小児科 日高 倫子 先生

宮崎県基幹型臨床研修病院 研修医対象
研修カリキュラム
 2020年度から研修制度の見直しに伴って研修と対応した勉強会を実施しています。奮ってご参加ください!

● 高崎大学 卒後臨床研修センター セミナー室
 ※ 本大会以外で開催している方は、2020年度に受講済みとなります。
 ※ 2021年の研修制度、卒業認定試験、2022年度の研修コースも実施予定です。実施状況については、2021年度から研修医の皆さまへお知らせいたします。

第1回 令和3年8月19日(木) 18時~18時40分
■ 児童・思春期精神科 (発達障害など)
 高崎大学 精神科 (卒後臨床研修センター) 助教 大平 洋明 先生
<https://www.kanagawa-u.ac.jp/~med/psychiatry/>

第2回 令和3年10月21日(木) 18時~18時40分
■ がんゲノム医療の現状とトピックス
 高崎大学 消化器・内臓・小児外科 助教 西田 卓弘 先生
<https://www.kanagawa-u.ac.jp/~med/gastroenterology/>

第3回 令和3年12月9日(木) 18時~18時40分
■ 抗菌薬の上手な使い方と薬剤耐性菌への対応
 高崎大学 膠原病・感染症内科 助教 松田 基弘 先生
<https://www.kanagawa-u.ac.jp/~med/rheumatology/>

第4回 令和4年2月10日(木) 18時~18時40分
■ 子ども虐待への対応
 宮崎県立宮崎病院 小児科 日高 倫子 先生
<https://www.kanagawa-u.ac.jp/~med/pediatrics/>

お問い合わせ 高崎大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター
 〒890-1692 高崎市青島1丁目3-20
 TEL: 0985-85-1504 (直通) FAX: 0985-85-0693
 E-mail: sotugod@med.kanagawa-u.ac.jp

12月2日(木) 特別講演

宮崎大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター 特別講演
アドバンス・ケア・プランニング (ACP) の概念と実践
 2021
12月2日(木)
18:00-19:00
 卒後臨床研修センター セミナー室
 ※ 本大会以外で開催している方は、2020年度に受講済みとなります。

2020年度から研修制度の見直しに伴って研修と対応した勉強会「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」について、日本の緩和ケア分野の第一線で活躍されている講師がACPの概念と実践を学びます!奮ってご参加ください!

神戸大学医学部附属病院 特命教授
木澤 義之 先生

【木澤先生のご経歴】
 神戸大学医学部附属病院 緩和ケア科 特命教授
 神戸大学大学院医学研究科 緩和ケア学 特命教授
 日本緩和ケア学会 理事
 日本緩和ケア学会 緩和ケア学 学術委員会 委員長
 日本緩和ケア学会 緩和ケア学 学術委員会 学術委員会 委員長
 日本緩和ケア学会 緩和ケア学 学術委員会 学術委員会 委員長
 日本緩和ケア学会 緩和ケア学 学術委員会 学術委員会 委員長

【12月2日のご参加・申込みのご案内】
 特別講演の申込みは、2021年11月26日(木)までにお申し込みください。
 (申込、申込書)としてオンラインで応募するようお願いします。
 申込書: https://www.kanagawa-u.ac.jp/~med/advance_care_planning/
 申込書: https://www.kanagawa-u.ac.jp/~med/advance_care_planning/

お問い合わせ 宮崎大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター
 〒890-1692 高崎市青島1丁目3-20
 TEL: 0985-85-1504 (直通) FAX: 0985-85-0693
 E-mail: sotugod@med.kanagawa-u.ac.jp

第3回

研修医川柳コンクール

令和の始まりと共に始動した「研修医川柳コンクール」ですが、順調(?)に回を重ね、今年で第3回を迎えました。発案者の小生が委員長などと大それた肩書きで句を募集しており、知名度は決して高くないものの、毎年、研修医ならではの視点から大学病院での研修を詠んでくれています。研修医の先生方の奮闘する様子や、ほっこりするようなエピソードを垣間見つつ、温かい目で見守ってもらえたら幸いです。

最後に、今年は委員長も勝手に詠んでみます。

「研修医 今の学びを ^{さき}誇る未来」 ん〜クサイ!

卒後臨床研修センター
研修医川柳コンクール委員長 鈴木 翔



最優秀賞

家で聞く ^{ピッチ} PHS 鳴る音 空耳か

詠み人 M・S

選評 選考委員 卒後臨床研修センター 小松 弘幸

まさに「研修医あるある」だと思います。私も研修医の時はよく救急車の音と電話の音が空耳で聞こえていました。入浴中は携帯電話を傍に置いて、落ち着かない気分ですらサッと済ませていたことを思い出しました。

2位

飲み会が 一切なくなり 出会いどこ?

詠み人 E・N

選評 選考委員 卒後臨床研修センター 日高 康太郎

足下に転がる幸せを拾っていきましょう。

3位

通勤中 カンファのプレゼン 反復し

詠み人 R・K

選評 選考委員 卒後臨床研修センター 大平 洋明

共感しかない一句!

病歴、理学所見や検査、経過など復習する、通勤車中の巧みな脳内描写です。質疑応答までシミュレーションするけど、そこは結構、外れるんですよ(^_^;

4位

Pt(患者さん)の ありがとうが 生き甲斐だ

詠み人 A・W

選評 選考委員 卒後臨床研修係

研修医の先生方はとても多忙な日々を過ごされてると思いますが、心のこもった「ありがとう」は、モチベーションを高めてくれる何よりのご褒美ですよ。多くの患者さんから感謝され、信頼される医師になれるよう期待しています。

4位

問診を しながら気づく 我が不養生

詠み人 S・T

選評 選考委員 卒後臨床研修センター 宮内 俊一

膝を打ちました!まさにそうですね。それでは私も一句(和歌ではありませんが「返歌」になるのかな?)。「損生を 指導する医者 不損生」。お後がよろしいようで…。

新センター教員のご紹介

内科担当(循環器内科) 森林 耕平先生



宮崎大学を卒業し皆さんと同じこの卒後臨床研修センターで研修医時代を過ごしました。その後、国立循環器病研究センター、西宮渡辺心臓血管センター、県立日南病院での勤務を経て、約10年ぶりに大学へ戻ってきました。急性疾患が大好きで、Dr.Carに乗ったり月に20日くらい当直したり、だいぶ生き急いできましたが、少し落ち着いて大人になろうと思っています。少しでもいい研修になるように、精一杯サポートさせていただきます。

研修医マッチング結果

2021年度マッチング結果が発表されました。

【医師】

自主デザイン研修プログラム	20名
小児科研修重点プログラム	0名
産婦人科/周産期研修重点プログラム	0名
計	20名

【歯科医師】

歯科臨床研修プログラム	7名
歯科臨床研修協力型長期プログラム	2名
計	9名

eレジフェアオンライン2021に参加しました!

9月26日(日)に医学生を対象とした初期研修プログラム合同説明会「eレジフェア2021」に参加しました!

1枠45分の説明会を4回実施し、全国の医学部学生に参加いただきました。本院の研修プログラムの特徴を説明するとともに、卒後臨床研修センター内を中継するなどのオンラインを生かした方法で本院の魅力を伝えました。

3名の研修医の先生にご参加いただきました



卒後臨床研修センター副センター長の宮内先生の巧みな話術で終始和やかなムード



左から山成先生、佐々木先生、猪瀬先生



行事案内(12月~4月)

12月	6日(月)	歯科医師研修管理委員会
	18日(土)・19日(日)	令和3年度指導医のための教育ワークショップ(宮崎市)
1月	28日(金)	基本的臨床能力評価試験
	29日(土)・30日(日)	第115回歯科医師国家試験
2月	5日(土)・6日(日)	第116回医師国家試験
3月	上旬	医師研修管理委員会及び歯科医師研修管理委員会(修了判定)
	16日(水)	医師・歯科医師国家試験合格発表
	下旬	研修医 修了式
4月	1日(金)	令和4年度 新研修医オリエンテーション
		All Miyazaki研修医スタートアップセミナー

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、予定どおり実施できない場合がございます。

「なんでも掲示板」 原稿募集!

宮崎都市伝説、失敗リカバリー談、研修あるある話など、研修に係わる話ならなんでも原稿募集中です!

連絡先 宮崎大学医学部 医療人育成課 卒後臨床研修係
内線2385/2386

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200
TEL0985-85-1864 FAX0985-85-0693
E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp

